



## 議会から年頭のご挨拶



謹んで初春のお喜びを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、お健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから市議会に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は伊豆の国市制20年の節目にあたり、様々なイベントが催されました。また、戦後80年でもあり、戦争の悲惨さを振り返り、改めて世界の平和を祈る年でもありました。災害の記憶も忘れてはなりません。元日の家族団らんを襲った能登半島地震から今年で2年が経ちました。同様に1月に起こった阪神・淡路大震災から31年、3月には東日本大震災から15年とな

ります。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われています。議会改革のひとつ

ですが、大災害の記憶をつなぎ、復興支援を進めると共に、常に防災意識をもち平時からの備えが必要となります。また昨年は「2025年問題」と呼ばれる年でもありました。団塊の世代が後期高齢者となり、日本社会が超高齢化社会の課題に直面する重要な転換点です。国民の5人に1人が後期高齢者となり、現役世代の負担増、医療・介護体制のひっ迫、経済の停滞などが懸念されています。日本全体での社会保障制度の見直しも求めると共に、高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを目指します。

さて、伊豆の国市議会は昨年4月の改選を経て、新しいメンバーで活動してまいります。議会改革のひとつとしてタブレットが導入され、大量の会議資料の電子化、ペーパーレス化により、効率的に調査・研究が進むことが期待されています。また、例年行われていた「議会報告会」は新たな試みとして、「市民ふれあい広場」のブースでの開催となりました。多くの皆様と交流が図られ、アンケートにもご協力いただきました。

私たち議員はこれからも研鑽を積み、資質向上に努め、市民の皆様が安心して豊かに暮らせるまちづくりを目指して活動してまいります。

伊豆の国市議会議員一同

総務産業建設委員会

**伊豆の国市特別職の職員で常勤のもの  
の給与に関する条例の一部を改正する  
条例の制定について**

■報酬審議会において出された答申を  
真摯に受け止めるが、社会情勢等の受  
け止めや施行日の議論は。

社会情勢や消費者物価指数、市の職  
員の平均給与も20年前とそれほど変  
わっていない。第一は市の財政状況等  
も考慮し、総合的に判断した。

施行日は、前回の改定と同じにした。

委員会で様々な議論の末、条例は委  
員会として賛成するが、次の2点の附  
帯決議を付ける。

- 一 今後、給料改定の基礎となる数  
値根拠を明らかにする事を求める。
- 二 施行日を年度途中の1月1日と  
しているが、令和8年4月1日の執行  
を求める。

**令和7年度伊豆の国市一般会計補正予  
算(第5号)について**

■地域観光推進事業の宿泊業の経営力  
基礎強化事業費補助金の減額の説明を。

業務効率化生産性向上のためのシ  
ステム導入費と、従業員宿舍の更新  
工事費の2つのメニューに8事業者

11施設がエントリーしていたが、結  
果、3施設の事業実施となった。

■地域農業活性化事業の飼料価格高騰  
分支援金400万円の内訳を。

補助金上限が1件40万円で、対象事  
業者が10件。内訳は、乳牛6件、肉牛  
2件、養豚2件。

■プール管理及び清掃委託料を新たに  
債務負担行為として計上する意味は。

4月の入札では、人員確保が難し  
い。開園までに監視員の確保、設備の  
試験運転、清掃を実施するため。

■緊急地震・津波対策等交付金の減額  
理由は県より示されているか。

当該事業は、3カ年の事業要望に  
対し県が確保できた予算額が全体額の  
92・6%であった。このため、当市の  
令和7年度の要望額に対し59・2%の  
内示率であった。

閉会中の継続調査(令和7年10月22  
日)

千葉県木更津市富来田地区まちづ  
くり協議会による自家用有償旅客運送  
と、君津市のドロ  
ーンを活用した橋  
梁点検事業「君津  
モデル」の視察を  
行った。



福祉文教環境委員会

**伊豆の国市乳児等通園支援事業の設備  
及び運営に関する基準を定める条例の  
制定について**

■公立園では、現状の施設で受入れが  
できるのか。また、どのぐらいの利用  
があるのか。

改修をするということはないが、保  
育士は研修等が必要。一時預かり制度  
と類似制度を公立園と私園のほうで実  
施しており、見込み数はあまりない。

**伊豆の国市歴史・文化拠点施設の設置、  
管理及び使用料に関する条例の制定に  
ついて**

■歴史館の入館料は無料がいいのか。

有料とした場合、平均的な数字が大  
体2000円から4000円ぐらいで、細  
かくシミュレーションをした。菲山  
郷土史料館の閉館間際の平均値が約  
1万2000人程度で、そこを最低ラ  
インで算出。その場合、プラスになる  
かという点、2000円から4000円の  
金額で来場者数がそれ以上としても、  
収支を計算するとマイナスになる。そ  
のマイナス幅をより小さくするために  
は、無料のほうが収支のマイナス分が  
少なくなる。有料施設とすると人件費

がかかり、ランニングコストが上がっ  
てしまう。

**令和7年度 伊豆の国市一般会計補正  
予算(第5号)について**

■重点地方創生臨時交付金のうちの介  
護サービス事業所等物価高騰分支援金  
が交付される支援事業所はいくつか。

春に県が行った支援金給付事業の対  
象にならなかった区分の事業所で、訪  
問看護と訪問リハビリテーション事業  
所5カ所、訪問介護事業所9カ所。

■マイナンバーカード申請・交付予約  
支援業務委託料は、伊豆の国市だけの  
コールセンターなのか。

市単独で契約行為を進めていく。  
理由と修理の予定があるのか。

7月の大雨により、雨漏りが生じた  
ところがあり工事をした。雨漏りの跡  
がある南棟のほうを重点的にやってい  
きたい。

閉会中の継続調査(令和7年10月28  
日)

愛知県北名古屋市の「回想法」と、愛  
知県扶桑町の小中学  
校の聴講生制度につ  
いて視察を行った。

